

# 前足根管症候群



## 前足根管症候群とは…？

前足根管症候群は、足にある深腓骨神経がなんらかの圧迫を受けて足背部から親指・人差し指にかけての、痛みや痺れが起こるものです。(図1)



## 原因は…？

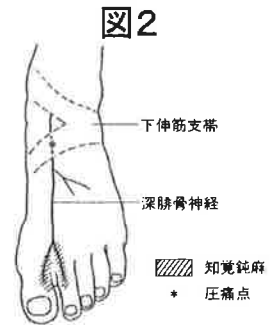
足にある下伸筋支帯と呼ばれるバンドを通過する際に圧迫されたり、深腓骨神経が体表から近いところを走行しているため、靴紐の結び目やハイヒールのバンドによって圧迫されて起こることがほとんどです。まれに骨の変形や、外傷によって発症する事もあります。



## 症状は…？

- ①足背部から親指・人差し指にかけての痛み・痺れ(図2)
- ②夜間痛
- ③足指が動かしにくい

などです。この疾患は仕事や運動時など靴を履いているときに症状が強くなり、素足や安静時には軽減することもあります。



## 治療は…？

まず、安静にすることが大切です。靴紐をゆるめたり、靴を変更して圧迫が起こらないようにしましょう。足背部に直接圧迫が加わらないようにパッドをあてたりもします。(図3)また炎症を抑える薬や湿布なども用います。このような治療で症状は軽減し、ほとんどの場合で手術治療は必要ありません。しかし、いつまでたっても症状が続くときは再度診察を受けることをお勧めします。



わからない事があればスタッフまでお気軽にご質問ください。